

岩手の森に降る雨（その1）

1 研究のねらい

県内の森林に降る雨の酸性度、樹木の衰退度の実態を調査し、今後の森林施業の参考資料を得る。この調査は全国的な調査の一環として実施しているものである。

2 研究方法と結果

県内を41のメッシュ（5万分の1地形図に相当）に区分し、1990～1992年はこのうちの25のメッシュ内に1箇所の調査地点を設定した。各調査地点で6月に雨水を採取し、酸性度（pH）と電気伝導度（EC：汚染度合）及び樹木の衰退の有無を調査した。

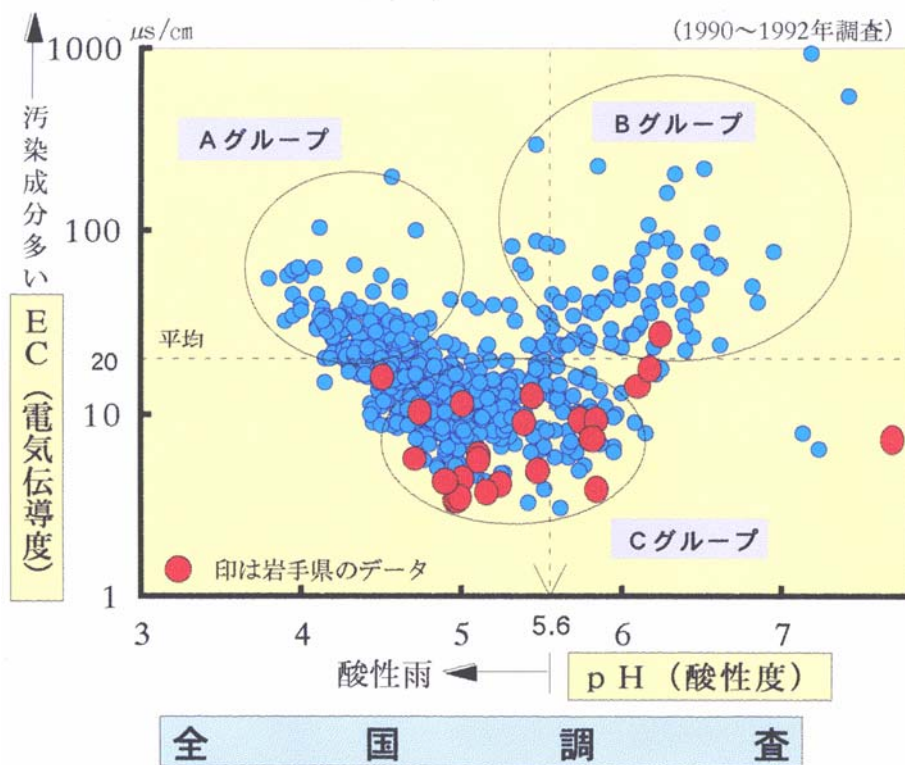
下図で示したように、岩手県の測定値は

pH4.5～7.6と各地で酸性雨が観測されたが、やや酸性から中庸の雨が多かった。ECは3.7～29.2で大部分が全国平均より小さい値で、汚染度が低かった。また、いずれの箇所も酸性雨が原因と思われる衰退は見られなかった。

3 成果と今後の進め方

以上の結果、岩手県の森林に降る雨は汚染度が低く比較的清浄であるが、各地で酸性雨が降っていることが明らかになった。

今後、調査地点を全県に広げるとともに酸性雨及び森林の衰退について継続して調査する予定である。



《Aグループ》
酸性物質で汚染された雨。北海道、関東一円、中京以西に多い。

《Bグループ》
他の物質で汚染された雨。関東、関西の都市部に多い。

《Cグループ》
汚染が少ない雨。東北、中部山岳、南四国に多い。

(担当 森林資源部 主任専門研究員 玉山 俊彦)

連絡先

028-3623 岩手県紫波郡矢巾町大字煙山第三地割字清水 560-11
岩手県林業技術センター
ホームページアドレス

TEL 019-697-1536

FAX 019-697-1410

<http://www.pref.iwate.jp/~hp1017>